

新都留市立病院改革プラン
平成29年度の取組状況について

平成30年11月29日

都留市立病院

1. 医業収益、患者数等の概要

(1) 医業収益の状況

平成 29 年度の医業収益は、新改革プランの収支計画と比較すると、入院では 43,107 千円上回りましたが、外来では 29,601 千円下回ったため、合計で 13,506 千円上回りました。

前年度との比較では、入院で 77,699 千円の増、外来では 11,472 千円の減、合計では 66,227 千円の増となりました。

入院収益

	H28 年度 (実績)	H29 年度 (計画)	H29 年度 (実績)	計画との差
入院収益	1,122,729 千円	1,157,321 千円	1,200,428 千円	43,107 千円
1人1日あたり	38,671 円	40,136 円	40,131 円	△5 円

外来収益

	H28 年度 (実績)	H29 年度 (計画)	H29 年度 (実績)	計画との差
外来収益	1,007,549 千円	1,025,678 千円	996,077 千円	△29,601 千円
1人1日あたり	9,224 円	9,751 円	9,643 円	△108 円

(2) 患者数の状況

患者数については、平成 29 年度予算における予測と比較すると、入院は 181 人上回り、外来は 1,389 人上回りました。

前年度との比較では、入院で 214 人増、外来では 5,458 人の減でした。

入院患者数

	H28 年度 (実績)	H29 年度 (予算)	H29 年度 (実績)	予算時との差
入院患者数	28,802 人	28,835 人	29,016 人	181 人
1日あたり	78.7 人	79 人	79.5 人	0.5 人

外来患者数

	H28 年度 (実績)	H29 年度 (予算)	H29 年度 (実績)	予算時との差
外来患者数	112,034 人	105,187 人	106,576 人	1,389 人
1日あたり	381.1 人	359 人	365.0 人	6 人

2. 新改革プラン目標数値の達成状況

1. 公立病院として今後果たすべき役割

新改革プランでは、当院が今後果たすべき役割以下の5項目を定めています。

①公立病院として地域医療の基幹的役割を果たす。

②市内唯一の総合病院として、民間医療機関で担うことのできない高度・専門医療を提供するとともに、救急告示病院として一次及び二次救急を担う。

③市が大きな政策課題と位置づける人口減対策・少子化対策に対し、平成30年度の分娩再開など、地域政策を医療面で支える重要な役割を果たす。

④医療、疾病予防活動及び介護をシームレスに連携して行う地域包括医療・ケアを推進する。

⑤自己完結型から地域完結型医療への転換を図り、安全・安心な医療を提供する。

①②に係る指標である救急搬送患者数は、都留市消防本部の救急手配件数が3.8%減少したことに伴い、前年度から2.4%減少しました。手術件数は、外科、整形外科、脳神経外科で合計42件減少しましたが、眼科、形成外科で合計87件増加したため、7.4%増加しました。一方、リハビリにつきましては、整形外科の入院患者数が1,689人、外来患者数が1,366人減少したことに伴い、入院リハビリは4.2%減少、外来リハビリは37.7%減少しました。

④に係る指標である訪問診療件数、訪問看護件数は実績がありませんでした。

⑤に係る指標である紹介率は、文章により紹介された患者数は前年度から56人増えましたが、初診患者数が3,065人増加したため、0.7ポイント減少しました。逆紹介率は、文章により紹介した患者数が324人増加したため1.6ポイント増加しました。

設定した指標の達成状況

	H28 実績	H29 目標	H29 実績	H29 評価
紹介率 (%)	15.5	→	14.8	△
逆紹介率 (%)	6.9	→	8.5	○
救急搬送患者数 (人)	1,357	→	1,325	△
手術件数 (件)	577	→	620	○
入院リハビリ (件)	7,743	→	7,432	△
外来リハビリ (件)	1,326	→	963	×
訪問診療件数 (件)	0	→	0	△
訪問看護件数 (件)	0	→	0	△

前年度実績に対し、5%超上昇○、±5%以内△、5%超下降×

$$\text{紹介率} = \frac{\text{文章により紹介された患者数} + \text{救急車で搬送された患者数}}{\text{初診患者数} + \text{時間外・休日・深夜受診の6歳未満小児患者数}} \times 100$$

$$\text{逆紹介率} = \frac{\text{文章により紹介した患者数}}{\text{初診患者数} - \text{時間外} \cdot \text{休日} \cdot \text{深夜受診の6歳未満小児患者数}} \times 100$$

2. 経営の効率化

新改革プランで定めた指標の達成状況は以下のとおりです。

(1) 収支改善

	H28年度 (実績)	H29年度 (計画)	H29年度 (実績)	計画との 差
経常収支比率	91.5	89.5	92.5	3.0
医業収支比率	86.7	86.3	89.2	2.9

経常収支比率 (%) (経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用)

医業収支比率 (%) (医業収支比率 = 医業収益 / 医業費用)

(2) 経費削減

	H28年度 実績	H29年度 (計画)	H29年度 実績	計画との 差
職員給与費対 医業収益比率	64.4	65.7	63.2	△2.5
材料費対 医業収益比率	21.3	21.0	21.0	0

職員給与費対医業収益比率 (%)

(職員給与対医業収益比率 = 職員給与 / 医業収益)

材料費対医業収益比率 (%)

(材料費対医業収益比率 = 材料費 / 医業収益)

(3) 収入確保

	H28年度 (実績)	H29年度 計画	H29年度 実績	計画との 差
病床利用率	56.8	56.4	58.5	2.1
外来入院 (患者) 比	3.7	3.9	3.5	△0.4

病床利用率 (%)

(病床利用率 = 延入院患者数 / 延病床数)

外来入院 (患者) 比 (%)

(外来入院 (患者) 比 = 1日平均外来患者数 / 1日平均入院患者数)

(4) 経営の安定

現在の診療科目（外来）14科（内科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、**消化器外科、形成外科**、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科）は維持し、引き続き、常勤医師の確保を精力的に行なう。産科分娩再開により、3名の医師（産科医）と5名の助産師採用が計画されている。

(5) 目標達成に向けた具体的な取組み

	取り組み内容
患者サービスの向上	患者満足度調査の実施 案内表示の改善、清掃の改善
医師の確保	関係機関訪問 内科医1増、産婦人科医1増
分娩再開に伴う施設設備費の抑制及び適正投資	内容の精査
適正な平均在院日数の維持	入退院管理の徹底
ベッドコントロールの徹底 (病床利用率の向上)	内科医1増により、内科入院患者が2,153人増加し病床利用率が上昇
地域クリニカルパスの構築 (紹介率、逆紹介率の向上)	地域医療連携室を介した構築
リハビリテーション医療の充実	機材の充実
入院、外来日当点アップ対策	約束の指示化
適正な診療報酬の請求	診療報酬請求の精査
未収金対策の徹底（現年度）	電話等による催告
職員給与費の適正化	時間外勤務時間の抑制
委託費の適正化・縮減	内容の精査
薬品費の削減	後発医薬品使用のためのシステム準備
診断材料費の削減	SPDを介した調達で不急在庫を抱えない
多様な収入構造の構築	健康診断受入れ体制の検討

3. 平成 29 年度決算の概要

(1) 収益的収支の概要

医業収益は、前年度と比較すると、入院収益が 77,699 千円増加しましたが、外来収益が 11,472 千円、その他医業収益が 7,212 千円減少したため、59,015 千円の増となりました。

医業外収益は、一般会計からの繰入金となる負担金および交付金、他会計補助金と長期前受金戻入額が減少したため、前年度と比較すると 46,154 千円の減となりました。

医業費用は、前年度から給与費、材料費、経費が増加しましたが、減価償却費、資産減耗費が減少したため、4,106 千円の減となりました。

医業外費用は、支払利息及び企業債取扱諸費、繰延資産償却費が減少しましたが、主に控除対象外消費税となる雑支出が増加したため、12,255 千円の増となりました。

老健事業収益は、前年度から 13,346 千円増加し、老健事業外収益は前年度とほぼ同じでした。

老健事業費用は、主に給与費、経費が増加したため、前年度と比較すると 7,433 千円の増となりました。老健事業外費用は、支払利息及び企業債取扱諸費、繰延資産償却費の減少により、1,936 千円の減となりました。

全体の損益は、前年度と比較すると 33,778 千円改善しましたが、235,482 千円の赤字となりました。

(単位：千円)

部門	項目	H28 年度	H29 年度	対前年度
病院 事業 部門	医業収益 A	2,206,869	2,265,884	59,015
	入院収益	1,122,729	1,200,428	77,699
	外来収益	1,007,549	996,077	△ 11,472
	その他医業収益	76,591	69,379	△ 7,212
	医業費用 B	2,545,162	2,541,056	△ 4,106
	給与費	1,421,477	1,431,748	10,271
	材料費	470,513	475,127	4,614
	経費	427,818	440,057	12,239
	研究研修費	3,267	3,428	161
	減価償却費	213,785	187,332	△ 26,453
	資産減耗費	8,302	3,364	△ 4,938
	医業損益① (A-B)	△ 338,293	△ 275,172	63,121
	医業外収益 C	251,869	205,715	△ 46,154
	受取利息及び配当金	2,677	3,354	677
	負担金及び交付金	76,245	61,158	△ 15,087
	他会計補助金	49,450	45,896	△ 3,554
	補助金	27,245	27,591	346
長期前受金戻入	83,527	55,264	△ 28,263	
資本費繰入収益	0	0	0	
その他医業外収益	12,725	12,452	△ 273	
医業外費用 D	134,110	146,365	12,255	

		支払利息及び企業債取扱諸費	13,245	10,942	△ 2,303
		繰延資産償却費	47,912	47,233	△ 679
		雑支出	72,953	88,190	15,237
		医業外損益② (C-D)	117,759	59,350	△ 58,409
		病院事業部門損益 (①+②)	△ 220,534	△ 215,822	4,712
老健事業部門	老健事業収益 E		419,193	432,539	13,346
		介護保健施設介護料収益	314,338	320,312	5,974
		居宅介護収益	42,502	47,966	5,464
		利用者等利用料収益	61,989	63,861	1,872
		その他事業収益	364	400	36
	老健事業費用 F		436,924	444,357	7,433
		給与費	310,356	314,013	3,657
		材料費	9,416	10,412	996
		経費	92,012	94,803	2,791
		研究研修費	365	205	△ 160
		減価償却費	24,775	24,924	149
		資産減耗費	0	0	0
		老健事業損益③ (E-F)	△ 17,731	△ 11,818	5,913
	老健事業外収益 G		3,301	3,518	217
		受取利息及び配当金	0	0	0
		負担金及び交付金	0	0	0
		他会計補助金	0	0	0
		補助金	0	0	0
		長期前受金戻入	2,670	2,670	0
		資本費繰入収益		0	0
	その他事業外収益	631	848	217	
	老健事業外費用 H		13,296	11,360	△ 1,936
		支払利息及び企業債取扱諸費	4,138	2,700	△ 1,438
繰延資産償却費		1,046	0	△ 1,046	
雑支出		8,112	8,660	548	
	老健事業外損益④ (G-H)	△ 9,995	△ 7,842	2,153	
	老健事業部門損益 (③+④)	△ 27,726	△ 19,660	8,066	
	特別利益 I	0	0	0	
	特別損失 J	21,000	0	△ 21,000	
全体	総収益⑤ (A+C+E+G+I)	2,881,232	2,907,656	26,424	
	総費用⑥ (B+D+F+H+J)	3,150,492	3,143,138	△ 7,354	
	全体損益 (⑤-⑥)	△ 269,260	△ 235,482	33,778	

(3) 資本的収支の概要

資本的収入は、長期貸付金の繰上返済 90,000 千円、産科分娩機器整備にかかる補助金 11,910 千円の収入や産科分娩設備整備に係る企業債の借入れを行ったため、前年度と比較すると 295,115 千円の増となりました。

資本的支出は、産科分娩機器の整備費用となる建設改良費や、周産期電子カルテシステム整備費用となる開発費を計上したため、189,628 千円の増となりました。

(単位：千円)

項目	H28 年度	H29 年度	対前年度
資本的収入	121,564	416,679	295,115
負担金	71,564	74,569	3,005
寄附金	0	0	0
長期貸付金返還金	50,000	140,000	90,000
他会計補助金	0	0	0
補助金	0	11,910	11,910
企業債	0	190,200	190,200
資本的支出	197,263	386,891	189,628
建設改良費	43,002	161,906	118,904
企業債償還金	154,261	157,865	3,604
開発費	0	67,120	67,120
長期貸付金	0	0	0
差引	△ 75,699	29,788	105,487

(4) 一般会計繰入金の概要

企業債利子償還分、共済追加費用負担金、院内保育所経費、小児医療にかかる繰入金が減ったことにより、15,636 千円の減となりました。

(単位：千円)

繰入金内訳	H28 年度	H29 年度	対前年度
医業外収益	125,695	107,054	△ 18,641
負担金および交付金	76,245	61,158	△ 15,087
他会計補助金	49,450	45,896	△ 3,554
資本的収入	71,564	74,569	3,005
他会計負担金	71,564	74,569	3,005
合計	197,259	181,623	△ 15,636